

研究協力をお願い

昭和大学藤が丘病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

本邦における子宮体癌に対する低侵襲手術（MIS）の実態調査
1．研究の対象および研究対象期間 2015年1月より2017年12月の間に子宮体癌の診断で腹腔鏡下手術を行った方
2．研究目的・方法 本邦における子宮体癌に対する低侵襲手術は予後に変化を及ぼしている可能性があります。本研究では本邦における子宮体癌に対する低侵襲手術の実態（これまでの実施数、手術適応、手術術式、腫瘍学的予後、どのような施設で実施されているのかなど）を後方視的に解析し本邦の現状を把握することにより、問題点を明らかにし、今後の子宮体癌に対する低侵襲手術のより適切で安全な普及を図ることを目的とします。 2015年1月より2017年12月の間に子宮体癌の診断で腹腔鏡下手術を行った方の術式の詳細、術前診断、術後補助療法の詳細、病理結果、再発の有無などを調査し、統計的解析を行います。
3．研究期間 昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2024年03月31日まで
4．研究に用いる試料・情報の種類 研究に用いる診療情報の種類は以下の通りです。 (1) 術式の詳細：卵管の閉鎖処置の有無、子宮マニピュレータの使用の有無、膣切開の方法など (2) 術前診断（組織病理・Clinical stage）など (3) 術後補助療法の有無など (4) 病理結果（脈管侵襲の有無） (5) 再発の有無・再発日・再発場所（局所・遠隔・実際の場所）など
5．外部への試料・情報の提供 個人の氏名、生年月日、電話番号、また診療情報等、個人を識別できる情報を削除し符号化した個人情報として研究事務局（東海大学産婦人科）へ提供します。

提供方法は、データ入力ファイルに調査事項を記入し、日本産科婦人科学会 HP 上で誤送信のないようファイル添付の送信フォームを使用し、ファイルをアップロードします。送信フォームへはパスワード入力でのログインが必要で、データの送信は SSL 暗号化通信で行われます。また、添付ファイルの一時保管は外部攻撃に備えた高いセキュリティのサーバー上で行われます。

なお本研究で得られた情報は研究終了後 5 年または研究発表後 3 年のいずれか遅い時期に廃棄します。

6 . 研究組織

研究の実施体制

昭和大学藤が丘病院 産婦人科	講師	中山 健
東海大学医学部専門診療学系産婦人科学	教授	三上 幹夫
東海大学医学部専門医療学系産婦人科学	准教授	吉田 浩
東海大学医学部専門医療学系産婦人科学	助教	町田 弘子
南カリフォルニア大学婦人科腫瘍学	Assistant professor	松尾高司

研究代表者

東海大学医学部専門医療学系産婦人科学 准教授 吉田 浩

7 . お問い合わせ先

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学藤が丘病院産婦人科 氏名：中山健

住所：神奈川県横浜市青葉区藤が丘 1-30 電話番号：045-971-1151

研究責任者：中山健